

あたらしい絵本・児童書

あらたに市立図書館の蔵書に加わった絵本や児童書を紹介します☆

『パンダとうさん』 中川貴雄/作・絵 岩崎書店

ぼくのお父さんは「パンダとうさん」。パンダとうさんはまいにち仕事に行くけれど、どんな仕事をしているのかな。ときどき慌てて出ていってくれど、いったい何をしているのだろう。ぼくはいつもパンダとうさんを追いかけて、秘密を探っています。ほっこり優しい絵本です。



『まわるおすし屋さん』 藤重ヒカル/作 福音館書店

今年のやまのおまつりで、サルたちは「たべものや」をやることになりました。皿回し芸をやりたかったサルたちはがっかり。でも、どうせやるなら流行りのお店をやろうと心に決め、キツネに相談します。「まわるおすし屋さん」をすることになったものの、どのようなものか見当が付きません。キツネに詳しく聞くのも恥ずかしいし…。いったいどんなお店になるのでしょうか。



『表現力のきほんの「き」：水彩画が楽しくなる』 小原直子／監修 大月書店

皆さんは図工の時間や夏休みの宿題など、よく水彩画を描く機会があると思います。まるで写真のような絵をかくのはとても難しいですが、思ったように絵を描けたらとても楽しいでしょう。この本では水彩画を描く時のものの見方や色の塗り方などを学ぶことができます。クラスのみんなからあっと驚かれる絵が描けたなら…。ワクワクしますね。

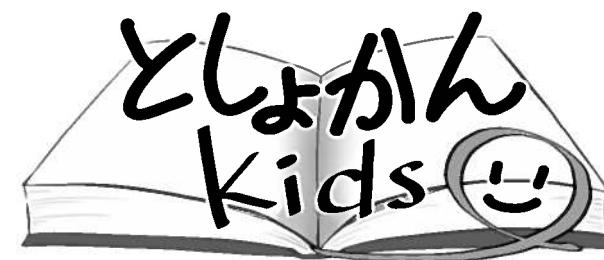


『日本の未来が危ない!?人口減少社会：②「買い物弱者」ってなに?』 岩澤美帆/作 汐文社

社会問題になっている「少子高齢化」。子ども生まれてくる数が少なくなっているこれからの日本では、どんどん人口が減ってしまうことが予想されます。そうすると、社会にはどのような影響が出てくるのでしょうか。仕事は？交通は？買い物はどうなるの？少し難しいかもしれませんが、未来を生きる皆さんにぜひ知ってほしいテーマです。



山形市立図書館



第 59 号
2025 年 春

発行：山形市立図書館 山形市小荷駄町 7-12 TEL：624-0822
幼児から小学生のみなさん、絵本や児童書に関心のあるみなさんのための「としょかん Kids」という本の新聞です。



子どもの短歌

市立図書館本館では、読書・探検・夢をテーマに短歌を募集しています。投稿いただいた短歌をご紹介します！ご応募ありがとうございました！

たくさんのご応募
お待ちしております！

海の中イルカと共に遊んだら クジラに食べられ夢から目覚める

作者：及川満さんのひとこと
「昨日見た夢がとても不思議でした。」

イルカと一緒に食べられてしまったのでしょうか、ちょっと怖かったですね。クジラのおなかの中はどうなっているのでしょうか。実はおなかの中にも海が広がっていたり…。想像したら夢がどんどん広がります。

しょうらいはボカロPになる そんなゆめがぼくにはあるの

作者：柚木普さんのひとこと
「がんばるぞ！」

夢に向かって全力を尽くせることは、すばらしいことです。きっと大変なことや迷うこともたくさんあると思いますが、ぜひ自分を見失わず、駆け抜けてくださいね。応援しています。

4月23日～5月12日は「こどもの読書週間」です！

「あいことばはヒ・ラ・ケ・ホ・ン！」

市立図書館では、1階児童室にて、本が大好きな皆さんの力で「虹をかけよう」というコーナーを設置します。ぜひご参加ください！





ぼくとわたしのおすすめの本



山形市立高瀬小学校 斎藤彩羽さん

この本は、ある一人の子が、今いる地球を守るためには何ができるかを考えていくお話です。

「海が描いた絵」「波の引つ張った一本の線」。赤黄、青、白、紫、緑、黒、紺、茶、こげ茶、えび茶、オレンジ、灰色、金、銀、ピンクなど、ありとあらゆる色の、小さな小さなつづつ。大きさは砂くらい。だけど砂じやない…。

「海が描いた絵」「波の引つ張った一本の線」。みなさんは何だと思えますか。現代には、海の生き物の命に関わる問題がたくさんあります。ぜひこの本を読んで、考えてみてください。

サステナブル・ビーチ

小手鞠 るい
カシワイ
さ・え・ら書房 発行

絵 作

山形市立高瀬小学校 図書整理員 村岡明日香さん

十一歳のバースデーシリーズは、小学五年生の子どもたちが、十一歳の誕生日を通して成長していくお話です。全五巻で、各巻ごとに主人公が変わります。

同じクラスで同じ班になった、ましろ、アンナ、一秋、晶、和也。

春の遠足の山登りの出来事がきっかけで、五人は少しずつお互いを理解し、成長していきます。

人との関わりあい方について考えさせられる物語です。悩みや不安を抱えているけれど、どうしたらいいかわからず、一人で抱え込んでいる人にぜひ読んでほしいです。

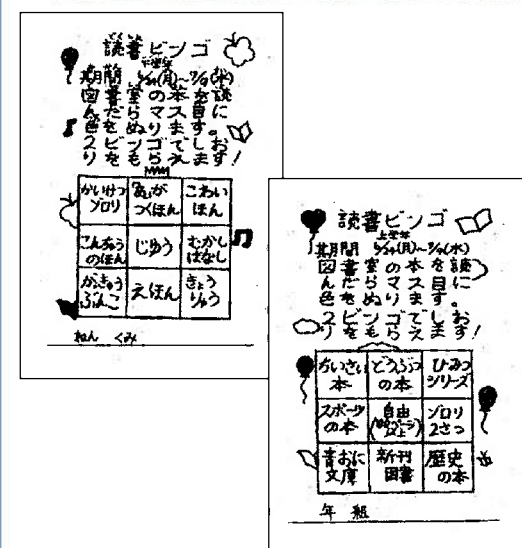
十一歳のバースデーシリーズ 全五巻

井上林子
イシヤマアズサ
くもん出版 発行

絵 作

学校図書館のいま⑥
山形市立第八小学校

子どもたちのための図書室、子どもたちと作る図書室



明るくて開放的な室内が素敵な第八小学校の図書室。

学年ごとの「教科書に出てくる本」コーナーや、季節に合わせた本コーナーがあるのが印象的でした。

第八小学校では、読書週間のイベントとして「読書ビンゴ」という取組をされています。3×3 マスのビンゴカードを作成し、それぞれのマスに、例えば「歴史の本を読もう」のような図書委員の児童が考えた課題を書き込んで配布。達成したら手作りの「しおり」をプレゼントするものです。普段は読まないような新しいジャンルの本との出会いもある、楽しい取組だと感じました。

一方、課題と感じていることもあるそうです。子どもたちの元気がよすぎて賑やかになりやすいこと、普段は本の修理と片付けで手一杯であり、時間的に蔵書点検を毎年するのが難しいこと等です。

多忙な中でも、子どもたちと対話しながら一緒に読書推進に取り組んでいる図書室でした。

小・中学校図書委員の皆さん、日ごろの取組を教えてください！ 皆さんの取組を市立図書館で紹介してみませんか？



令和6年8月
「お祭り」特集の様子

対象：市内小学校、中学校

特集期間：①10月～11月 ②1月～2月

学校の委員会活動での取組を市立図書館でも発信してみませんか。テーマを決めたり本を選んだり、皆さんとお話しながら進めていきます。市立図書館に学校の特集コーナーを作りましょう。興味のある方は、まずは先生にご相談ください。

詳細につきましては、5月中旬に改めて各学校へお伝えさせていただきます。

締切 5月30日(金)

問合せ：市立図書館に電話 624-0822